

“高保湿”と“さらさら感触”を両立した 新ファンデーション製剤を開発 バーム製剤が肌の上で瞬時にパウダーへ変化

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：三浦卓士）は、保湿効果の高いバーム※1 製剤が、肌に塗布した瞬間、パウダーへと変化する新感触ファンデーション製剤を開発致しました。この技術により、「オイルリッチで高い保湿効果」と「パウダーファンデーションのような、ふんわりとした仕上がり及びさらさらとした使用感」の両立が可能となり、今後ますます多様化するファンデーションへの使用満足度を高めることが期待されます。

この成果は、ポーラ・オルビスグループの株式会社ポーラから今秋発売される化粧品に活用される予定です。

※1 バーム：さまざまなオイルを練りこんだ柔らかなワックス

開発の背景

近年、保湿効果とトレンドに合致した仕上りを併せ持つファンデーション製剤の開発が相次ぎ行われています。これまで、高い保湿効果を有するファンデーション製剤を開発するために、油分が高配合されたバームファンデーションや、クリームファンデーションが用いられてきました。しかし、これらは高配合された油分の影響で、“べたつき”や“てかり”が発生するという課題がありました。一方、パウダーファンデーションは、ふんわりとした化粧仕上がりや、さらさらとした使用感は達成できるものの、高い保湿効果を達成することが困難でした。

こうした背景から、「高い保湿効果」と「ふんわりとした仕上がり及びさらさらとした使用感」を両立したファンデーションの開発を試みました。

新感触ファンデーション製剤の開発

「バームファンデーションが有する高い保湿効果」と、「パウダーファンデーションのふんわりとした仕上がり及びさらさらとした使用感」を両立するためには、オイルバーム製剤にパウダーファンデーションと同程度の量の粉体を配合することが鍵となります。その課題に対し、今回、高分子の界面活性剤をバーム製剤に配合し、オイル中の粉体分散性を向上させながら均一に分散させることで、バームファンデーションとパウダーファンデーションの特長を併せ持つ、新感触のファンデーション製剤（新製剤）を開発しました（図1）。

高い保湿効果とさらさらとした使用感を確認

新製剤の保湿効果を従来のパウダーファンデーション（従来品）と比較した結果、従来品よりも角層水分量が64%向上し、極めて高い保湿効果を有することが確認されました（図2）。さらに、塗布後のさらさら感を官能評価にて確認した結果、従来のパウダーファンデーションと同等以上のさらさらとした使用感であることが確認できました（図3）。

図1. 新製剤における粉体の分散状態イメージ図

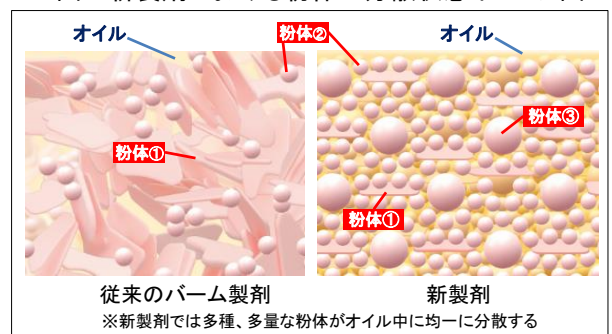


図2. 角層水分量の増加率

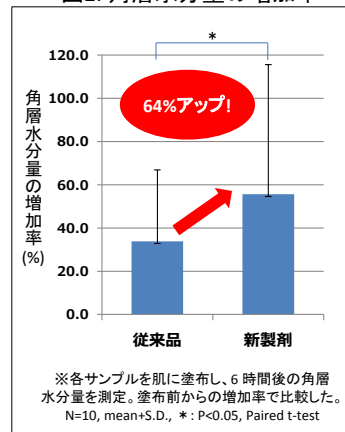
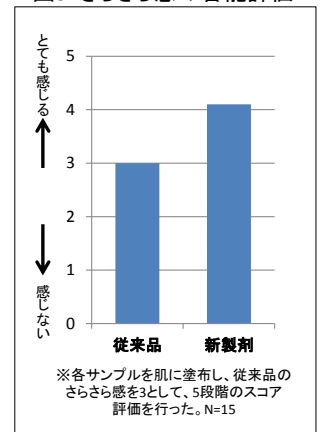


図3. さらさら感の官能評価



【本件に関するお問い合わせ先】 ㈱ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

Tel: 03-3563-5540 / Mail: webmaster@po-holdings.co.jp